

□議員名：吉永美子

## 1 防災について

論点	防災士の活用のために研修会を開催するとともに、女性の防災士を増やすため、女性団体への呼びかけを行ってはどうか。
回答	研修については、市単独ということは難しい。県が開催する研修や講座に積極的に参加を促しているという状況がある。セーフティーネットワーク等を通じての防災士候補推薦について、女性団体等にも積極的に声をかけていただいて、お名前が上がってくるようお願いしていきたいと思う。

論点	災害時のための乳児用液体ミルクの備蓄について考えを聞く。
回答	平成 30 年 8 月に液体ミルクの販売が認められたこともあり、粉ミルクとあわせて備蓄の量等を検討している。

論点	昨年 9 月議会で、災害時、特に外国人への対応状況を聞いた際の答弁を踏まえ、在住外国人や観光で訪れた外国人に対し、災害時対応の考えを聞く。
回答	外国人向けの防災知識等の普及については、これまで居住者を対象としており、外国人旅行者の普及啓発は十分ではない。今後、さまざまな媒体を通して、防災知識が広がるよう、防災パンフレットを観光客が集まる宿泊施設や観光施設に配布したい。

## 2 動物愛護について

論点	本市においては、猫の繁殖問題が大きいことから、猫の避妊・去勢を進め、不幸な命をつくらない必要がある。資金を協力者から募る、クラウドファンディング開始について考えを聞く。
回答	飼い主のいない猫の避妊・去勢の推進に賛同される方々の支援により財源を確保する一つの手法として、クラウドファンディングは有効な手法であると考えており、本市においても、クラウドファンディングが実施される場合には、ぜひ提案したい。

論点	犬や猫がどうしても飼えなくなった人を支援していくことも殺処分ゼロを実現する手だての一つである。里親探しへの支援について考えを聞く。
回答	里親探しの市役所ロビーへの掲示板などについては、設置は可能であろうと考えている。ただ、動物愛護団体など動物の里親探しの活動を適正に行っておられる団体が責任を持って、その掲示板の管理を行っていただくということが条件になろうかと思う。

論点	動物愛護月間の取組について考えを聞く。
回答	今年度、新たな取り組みとして、市役所のロビーにおいて動物愛護に関するパネル等の展示を行い、より一層の啓発を図っていくこととしている。展示の内容については、市の持っている資料と動物愛護推進員が持っておられる資料と合わせて、今、どのような形にするかというのは協議中である。

### 3 子どもたちの健やかな成長のために

論点	H S C（ハイリーセンシティブチャイルド・敏感な感性を持つ子ども）は5人に1人とされている。市の対応状況について聞く。
回答	現在、学校では、H S Cを含め特別な支援を必要とする児童生徒について、個別の支援計画を作成して、個に応じた支援をしている。また、各学校の児童生徒一人一人を理解するための会議を定期的に行い、配慮事項等の情報共有を行っており、児童生徒の支援の仕方についても、教職員全員で共通理解を図っている。

論点	本市においては、「置き勉」について児童生徒への配慮がなされているのか、取り組み状況を聞く。
回答	置いて帰ってよいものリストをつくり、年度当初に配布して、児童生徒に周知したり、書写の道具や水彩道具等の重い携行品について計画的に持参させる等、特定の日には荷物が過重にならないよう工夫をしている。今後も、校長会等を通じ、指導の徹底を図っていく。

論点	新生児聴覚検査への助成について、考えを聞く。
回答	新生児聴覚検査の受診率が高く、ほとんどの新生児が受けていること、県内での取り組みがまだ少ないことから、現時点で、本市では助成については考えていない。

#### 4 地方卸売市場の健全化について

論点	生産物の安定した流通にとって、卸売市場は欠かせない大切な存在である。市として、この事業の健全化に向けての考えを聞く。
回答	市場を健全化するためには、取扱高をふやすこと、それから、売参加者に多くの取引をしていただくことと考えている。一刻も早く、市場の陰の問題を解決して、来年度6月1日からの、改正後の卸売市場法の施行による新たな経済環境の中で、地方卸売市場としての新たな経営形態を早期に可決できるよう努めていきたい。